



2024年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年11月13日

上場会社名 株式会社アプリックス 上場取引所 東
コード番号 3727 URL <https://www.aplix.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 倉林 聡子
問合せ先責任者(役職名) 経営管理部 担当部長(氏名) 岩井 俊輔 (TEL) 050-3786-1715
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,825	△0.1	154	△27.1	150	△44.5	124	△47.5	124	△47.5	104	△61.9
2023年12月期第3四半期	2,831	—	212	—	271	—	238	—	238	—	274	—

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期第3四半期	5	70	5	68
2023年12月期第3四半期	10	76	10	73

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,919		2,561		2,561		65.4	
2023年12月期	3,273		2,554		2,548		77.9	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	—	0.00	—	—	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年12月期年間配当(期末)の内訳 普通配当: 2円50銭 初配記念配当: 1円00銭

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	4,235	12.6	219	△16.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社(社名) 株式会社H2、株式会社スマートライフ、除外 1社(社名) 株式会社BEAMO

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	21,727,630株	2023年12月期	22,172,630株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	129,638株	2023年12月期	19,298株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	21,936,268株	2023年12月期3Q	22,153,679株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	12
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

※当社グループは前連結会計年度(2023年1月1日から2023年12月31日まで)より、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を適用しており、前第3四半期連結累計期間の数値をIFRSに組み替えて比較分析を行っております。

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日～2024年9月30日)における我が国の経済は、内閣府による2024年9月の月例経済報告では「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。」と報告されています。先行きについては、「雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」と報告されており、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社は当第3四半期連結累計期間において以下の施策に取り組んでまいりました。

なお、セグメント間の内部売上収益は、セグメントの売上収益に含めております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

<ストックビジネス事業>

ストックビジネス事業においては、主に連結子会社であるスマートモバイルコミュニケーションズ株式会社における音声・通信サービスの提供のほか、クラウドSIMを用いたモバイルWiFiルーター「THE WiFi」の拡販に注力するとともに、本事業は収益の大半が月額利用料金等からなるストック性の高い事業であることから、顧客が満足して継続利用できるような通信環境やサポート等のサービス品質の向上に取り組みました。また、通信機能付きAIドライブレコーダー「AORINO」の取次店や販売代理店、OEM先の開拓を行うとともに、法人向けサービス「AORINO Biz」の拡販に注力しました。

また、当第3四半期連結累計期間において完全子会社化した株式会社H2、及びその子会社である株式会社スマートライフが展開する光回線・プロバイダー関連サービスの事業引継ぎや新規顧客開拓に取り組みました。なお、株式会社スマートライフについては本年10月1日付で実施した株式会社H2による吸収合併に伴い、同日付で解散しております。

<システム開発事業>

システム開発事業においては、ロケーションビーコン「MyBeaconシリーズ」の拡販に努めたほか、Bluetooth Low Energy通信機能を搭載するハードウェアの試作開発支援等、組込み開発技術を生かしたシステム開発を行いました。また、クラウド関連システムの開発や顧客のニーズに応じたフロントエンドシステムやバックエンドシステムの開発支援やテクニカルサポート等を行いました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のストックビジネス事業の売上収益は2,427,033千円(前第3四半期連結累計期間の売上収益2,372,481千円)、システム開発事業の売上収益は427,791千円(前第3四半期連結累計期間の売上収益460,144千円)となりました。

事業損益につきましては、ストックビジネス事業の事業利益は278,458千円(前第3四半期連結累計期間の事業利益266,616千円)、システム開発事業の事業利益は30,499千円(前第3四半期連結累計期間の事業利益102,687千円)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間においてセグメント利益の調整額が154,462千円(前第3四半期連結累計期間のセグメント利益の調整額157,135千円)発生しております。セグメント利益の調整額は、四半期連結損益計算書の事業利益と調整を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は2,825,616千円(前第3四半期連結累計期間の売上収益2,831,102千円)となりました。

事業損益につきましては、154,494千円の事業利益(前第3四半期連結累計期間の事業利益212,168千円)となりま

した。

営業損益につきましては、154,633千円の営業利益（前第3四半期連結累計期間の営業利益272,622千円）となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、124,980千円（前第3四半期連結累計期間の親会社の所有者に帰属する四半期利益238,325千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末と比較して645,877千円増加し、3,919,285千円となりました。これは、無形資産が765,729千円、のれんが425,250千円増加、現金及び現金同等物が548,963千円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して638,732千円増加し、1,357,498千円となりました。これは、借入金442,680千円、繰延税金負債が187,420千円増加したこと等によるものです。

資本につきましては、前連結会計年度末と比較して7,145千円増加し2,561,787千円となりました。これは、利益剰余金が125,523千円増加、資本剰余金が91,913千円、その他の包括利益累計額が20,776千円減少したこと等によるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率につきましては、前連結会計年度末と比較して12.5ポイント減少し、65.4%となりました。

当第3四半期連結会計期間末のキャッシュ・フローにおける連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して548,963千円減少し1,258,694千円となりました。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は、135,218千円（前第3四半期連結累計期間は374,128千円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期利益150,487千円、減価償却費及び償却費87,791千円、営業債務及びその他の債務の減少額135,928千円によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は、950,749千円（前第3四半期連結累計期間は79,096千円の減少）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出912,959千円、無形資産の取得による支出31,569千円によるものであります。

財務活動の結果増加した資金は、266,635千円（前第3四半期連結累計期間は13,416千円の減少）となりました。これは主に、長期借入による収入491,000千円、長期借入金の返済による支出114,115千円、自己株式の取得による支出91,725千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期連結業績予想につきましては、2024年5月13日付「2024年12月期第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）」及び同日付「2024年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において修正・公表した数値から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,807,658	1,258,694
営業債権及びその他の債権	467,409	560,324
棚卸資産	99,550	94,619
未収法人所得税	16,408	12
その他の流動資産	19,119	22,950
流動資産合計	2,410,147	1,936,601
非流動資産		
有形固定資産	1,999	2,423
使用権資産	38,918	28,769
のれん	467,796	893,046
無形資産	73,927	839,657
その他の金融資産	179,147	163,146
繰延税金資産	93,150	22,604
契約コスト	8,320	33,035
非流動資産合計	863,260	1,982,683
資産合計	3,273,407	3,919,285

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	369,808	353,256
借入金	100,000	197,148
リース負債	17,630	17,630
未払法人所得税	8,896	49,715
その他の金融負債	12,633	28,505
その他の流動負債	108,697	86,219
流動負債合計	617,666	732,477
非流動負債		
借入金	—	345,531
リース負債	31,881	18,658
引当金	9,927	9,927
その他の金融負債	59,290	61,965
繰延税金負債	—	187,420
その他の非流動負債	—	1,517
非流動負債合計	101,099	625,021
負債合計	718,765	1,357,498
資本		
資本金	51,456	51,456
資本剰余金	1,935,757	1,843,843
利益剰余金	603,558	729,082
自己株式	△26,461	△26,467
その他の包括利益累計額	△15,352	△36,128
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,548,958	2,561,787
非支配持分	5,682	—
資本合計	2,554,641	2,561,787
負債及び資本合計	3,273,407	3,919,285

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	2,831,102	2,825,616
売上原価	2,185,782	2,064,159
売上総利益	645,319	761,457
販売費及び一般管理費	433,151	606,962
事業利益	212,168	154,494
その他収益	60,453	138
その他費用	0	—
営業利益	272,622	154,633
金融収益	1,901	2,648
金融費用	3,168	6,794
税引前四半期利益	271,355	150,487
法人所得税費用	33,303	25,539
四半期利益	238,051	124,947
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	238,325	124,980
非支配持分	△273	△32
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	10.76	5.70
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	10.73	5.68

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益	238,051	124,947
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	35,999	△20,776
税引後その他の包括利益	35,999	△20,776
四半期包括利益	274,051	104,171
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	274,325	104,204
非支配持分	△273	△32

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額	合計		
2023年1月1日現在 残高	51,456	1,935,902	243,828	△26,368	—	2,204,819	5,988	2,210,808
四半期利益	—	—	238,325	—	—	238,325	△273	238,051
その他の包括利益	—	—	—	—	35,999	35,999	—	35,999
四半期包括利益合計	—	—	238,325	—	35,999	274,325	△273	274,051
所有者との取引額等								
自己株式の取得	—	—	—	△73	—	△73	—	△73
その他の包括利益 累計額から利益剰 余金への振替	—	—	35,999	—	△35,999	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	—	35,999	△73	△35,999	△73	—	△73
2023年9月30日現在 残高	51,456	1,935,902	518,154	△26,442	—	2,479,071	5,715	2,484,787

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額	合計		
2024年1月1日現在 残高	51,456	1,935,757	603,558	△26,461	△15,352	2,548,958	5,682	2,554,641
四半期利益	—	—	124,980	—	—	124,980	△32	124,947
その他の包括利益	—	—	—	—	△20,776	△20,776	—	△20,776
四半期包括利益合計	—	—	124,980	—	△20,776	104,204	△32	104,171
所有者との取引額等								
資本剰余金から利 益剰余金への振替	—	△543	543	—	—	—	—	—
連結子会社株式の 取得による持分の 増減	—	349	—	—	—	349	△5,650	△5,301
自己株式の取得	—	△867	—	△90,857	—	△91,725	—	△91,725
自己株式の消却	—	△90,851	—	90,851	—	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	△91,913	543	△5	—	△91,376	△5,650	△97,026
2024年9月30日現在 残高	51,456	1,843,843	729,082	△26,467	△36,128	2,561,787	—	2,561,787

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	271,355	150,487
減価償却費及び償却費	42,349	87,791
和解金	△60,106	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	112,671	41,075
棚卸資産の増減 (△は増加)	16,859	4,930
契約コストの増減額 (△は増加)	6,600	10,334
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△44,232	△135,928
その他	△29,586	△18,839
小計	315,910	139,851
利息及び配当金の受取額	12	79
利息の支払額	△1,212	△3,896
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△20	△816
和解金の受取額	59,437	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	374,128	135,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,231	△776
無形資産の取得による支出	△490	△31,569
投資有価証券の取得による支出	△96,917	—
投資有価証券の売却による収入	36,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△14,577	△4,344
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△912,959
その他	△880	△1,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,096	△950,749
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
長期借入による収入	—	491,000
長期借入金の返済による支出	—	△114,115
リース負債の返済による支出	△13,223	△13,223
自己株式の取得による支出	△73	△91,725
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△5,301
その他	△120	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,416	266,635
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	1,560	△67
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	283,176	△548,963
現金及び現金同等物の期首残高	1,471,564	1,807,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,754,740	1,258,694

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス別セグメントから構成されており、「ストックビジネス事業」と「システム開発事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントの情報

報告セグメントの利益は、事業利益※ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益は市場実勢価格に基づいております。

※ 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表計 上額
	ストック ビジネス事業	システム 開発事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	2,372,157	458,944	2,831,102	—	2,831,102
セグメント間の内部売上 収益	323	1,200	1,523	△1,523	—
計	2,372,481	460,144	2,832,626	△1,523	2,831,102
事業利益	266,616	102,687	369,303	△157,135	212,168
その他収益					60,453
その他費用					0
営業利益					272,622
金融収益					1,901
金融費用					3,168
税引前四半期利益					271,355

(注1) 事業利益の調整額△157,135千円には、各事業セグメントに配分していない全社費用△157,135千円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表計 上額
	ストック ビジネス事業	システム 開発事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	2,426,825	398,791	2,825,616	—	2,825,616
セグメント間の内部売上 収益	207	29,000	29,207	△29,207	—
計	2,427,033	427,791	2,854,824	△29,207	2,825,616
事業利益	278,458	30,499	308,957	△154,462	154,494
その他収益					138
その他費用					—
営業利益					154,633
金融収益					2,648
金融費用					6,794
税引前四半期利益					150,487

(注1) 事業利益の調整額△154,462千円には、セグメント間取引消去△4,701千円、各事業セグメントに配分していない全社費用△149,761千円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(企業結合等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(取得による企業結合)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会において、株式会社H2の全株式を取得し子会社化することを決議し、2024年4月1日付けで同社の株式を取得いたしました。

なお、本株式取得に伴い、H2社の完全子会社である株式会社スマートライフは、当社の孫会社となります。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社H2

事業の内容 光回線・プロバイダーサービスの提供

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は現在安定的に得られる利益の拡大施策に注力しており、その一環として利用者から得られる月額利用料金を収益源としたストック収益であるプロバイダー関連サービスを提供する株式会社H2を取得するものであります。

(3) 企業結合日

2024年4月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するため。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,022,864	千円
-------	----	-----------	----

取得原価		1,022,864	千円
------	--	-----------	----

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 79,028千円

取得関連費用は要約四半期連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれています。

4. 取得日現在における支払対価、取得資産及び引受負債の公正価値

(単位：千円)

	金額
支払対価の公正価値（現金）	1,022,864
取得資産及び引受負債の公正価値	
取得資産	
現金及び現金同等物	109,905
上記以外の流動資産	135,198
無形資産	811,000
上記以外の非流動資産	35,370
引受負債	
流動負債	174,545
非流動負債	319,314
取得資産及び引受負債の公正価値（純額）	597,614
のれん	425,250

(注) 第2四半期連結会計期間において取得対価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に取得対価の配分が完了しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、無形資産が811,000千円増加、非流動負債が280,606千円増加、のれんが530,394千円減少しております。

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、当社グループの既存事業と被取得企業とのシナジー効果により期待される将来の超過収益力を反映したものであります。

無形資産（顧客関連資産）811,000千円は、見積将来キャッシュ・フローや割引率等の仮定に基づいて測定しております。なお、顧客関連資産の見積耐用年数は9年であります。

5. 子会社の取得による支出

(単位：千円)

	金額
支払対価の公正価値（現金）	1,022,864
取得により支出した現金及び現金同等物	1,022,864
取得時に被取得会社が保有していた現金及び現金同等物	△109,905
子会社の取得による支出	912,959

6. 企業結合に係る取得日以降の損益情報

要約四半期連結損益計算書に含まれている取得日以降の被取得企業の業績は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	510,286
四半期利益	101,195

本企業結合が期首に実施されたと仮定した場合のプロフォーマ情報は、以下のとおりであります。なお、当該プロフォーマ情報は期中レビューを受けておりません。

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上収益（プロフォーマ情報）	789,641
四半期利益（プロフォーマ情報）	124,625

(重要な後発事象)
該当事項はありません。